

※ こちらの内容については、後日確認テストなどで到達度を確認します。

科目	授業	詳細
英語	高2 SL英語 α	<p>①テキストのPoint事項を覚える 第1講～第3講(p.4～p.31)までは文型に関して扱いました。こちらに出ている動詞は、書き換えを含め覚えていることが不可欠です。動詞の形(不規則活用動詞なら活用も)・意味・どの文型になるかを完璧に覚えましょう。なお、《付録》ページ(p.30～p.31)にある、「S+V+O+前置詞～」も出来るだけ覚えてください。</p> <p>②例題を解く 例題(p.5・p.10・p.13・p.17・p.22・p.28・p.33・p.37・p.41)を解いてみましょう。解けない場合は、(1)の項目を覚え直しましょう。完璧になるまで、何度も解き直しましょう。</p> <p>③入試問題演習を解く 入試問題演習(p.6・p.11・p.14・p.18・p.23・p.29・p.34・p.38・p.42)を解きましょう。この際、答えの根拠になるものを簡単に書いておきましょう。根拠が書けなかった問題に印をつけ、後日再度確認をしましょう。時間が取れる場合は、補充問題(p.7・p.15・p.19・p.24・p.25・p.35・p.39・p.43)もやってみましょう。</p> <p>④第5講の問題にチャレンジしましょう 第5講は、第1講～第4講のまとめになっています。単語テスト・語句整序の問題(p.44～p.47)はすべて実施してください。時間が取れる場合は、和文英訳の問題(p.48)にもチャレンジしてみましょう。</p> <p>⑤英熟語ターゲット1000の1～80を覚える 今回のRATの範囲となっています。すべて覚えて、熟語パート満点を狙いましょう！</p>
英語	高2 SL英語 β	<p>①テキストのPoint事項を確認しましょう 第1講～第3講に関しては、テキストのPoint(p.54・p.56・p.60・p.62・p.66・p.68)と授業のノートを参照しながら、文型の振り方を確認しましょう。この際、《研究》に出ている項目、第3講の動詞一覧で覚えていないものは覚えきってください。</p> <p>②短文演習をやってみましょう 第1講～第3講(p.55・p.57・p.61・p.63・p.67・p.69)に関しては、授業内で扱ったものの解き直しをしましょう。その上で授業ノートと照らし合わせ、正しく出来たかどうかを確認してください。できなかったものに関しては、再度チャレンジしましょう。第4講(p.73・p.75)に関しては、Pointの説明を参考に、SとVを明確にしてください。その上で、できれば日本語に訳してみましょう。</p> <p>③中文演習をやってみましょう 第1講～第3講(p.58・p.64・p.70)に関しては、文型を振った上で、注を参照しながら訳してみましょう。</p> <p>④第5講にチャレンジしましょう 基本練習の問題(p.78)に関しては、文型を振った上で訳してください。 演習①(p.79)・演習②(p.80)に関しては、少し長めの英文ですが、SVを明確にした上で、日本語に訳してみてください。</p> <p>⑤英単語ターゲット1900の1～120を覚える 今回のRATの範囲となっています。すべて覚えて、単語パート満点を狙いましょう！</p>

英語	高2 HL英語 α	<p>①テキストのPoint事項を覚える 第1講～第3講(p.88～p.127)までは文型と受動態に関して扱いました。こちらに出ている動詞・受動態の形・慣用表現は、書き換えを含め覚えていることが不可欠です。量が多いですが、時間をかけて構わないので、すべて覚えきりましょう。第4講(p.128～p.139)では、助動詞を扱います。テキストの説明を参照しながら、まず助動詞の基本的な意味を覚えましょう。</p> <p>②例題および演習を解く 例題および演習(p.90・p.91・p.94・p.95・p.98・p.99・p.104・p.105・p.108・p.109・p.114・p.115・p.118・p.119・p.122・p.123・p.126・p.127・p.130・p.131・p.134・p.135・p.138・p.139)の問題をすべて解いてください。この際、答えの根拠となるものを簡単に書きとめておきましょう。理由説明のできなかった問題は後日解き直し、すべての問題が出来るようにしましょう。</p> <p>③第5講の問題にチャレンジしましょう 第5講は、第1講～第4講のまとめになっています。語句整序・和文英訳の◇基本◇(p.140・p.141)はすべて実施してください。時間が取れる場合は、和文英訳の◇標準◇・◇発展◇(p.142・p.143)にもチャレンジしてみましょう。</p> <p>④英熟語ターゲット1000の1～120を覚える 今回のRATの範囲となっています。すべて覚えて、熟語パート満点を狙いましょう！</p>
英語	高2 HL英語 β	<p>①テキストのPoint事項を確認しましょう 第1講～第3講に関しては、テキストのPoint(p.152・p.153・p.158・p.159・p.164)と授業のノートを参照しながら、文型の振り方を確認しましょう。第4講(p.170・p.171)に関しては、Point(p.170)の説明を見ながら例文(p.171)を訳してみてください。</p> <p>②基本練習をやってみましょう 第1講～第3講(p.154・p.160・p.165)に関しては、授業内で扱ったものの解き直しをしましょう。その上で授業ノートと照らし合わせ、正しく出来たかどうかを確認してください。できなかったものに関しては、後日もう一度チャレンジしましょう。 第4講(p.172)に関しては、Pointの説明を参考に、不定詞の役割を明確にしてください。その上で、できれば日本語に訳してみましょう。</p> <p>③中文演習をやってみましょう 第1講～第3講(p.155～157・p.161～163・p.166～168)に関しては、基礎編・応用編・発展編すべて、文型を振った上で、注を参照しながら訳してみましょう。第4講(p.173～p.175)に関しても、不定詞の役割を意識しながらすべて訳してみてください。</p> <p>④第5講にチャレンジしましょう 基本練習(p.176)・演習(p.177・p.178)に関して、文型および不定詞を意識した上で訳してください。</p> <p>⑤英単語ターゲット1900の1～400を覚える 今回のRATの範囲となっています。すべて覚えて、単語パート満点を狙いましょう！</p>
英語	高2 最難関英語 α	<p>①問題を解きましょう(p.190～195・p.198～203・p.206～211) PART A・PART B・PART Cすべての問題を解きましょう。なお、PART A・PART Bに関しては、その講に扱った文法事項の問題で、PART Cは、分野を問わずに問題を掲載しています。いずれの問題を解く際も、解答の理由を簡単に書きとめておきましょう。理由説明が出来なかった問題は、後日解き直ししましょう。</p> <p>②助動詞の事項を確認してから、問題を解きましょう(p.212～219) 第4講は助動詞を扱っています。まず、p.212・p.213の基本事項を確認し、助動詞の問題(p.214～217)を解きましょう。なお、p.218～p.219はランダム問題です。こちらは、(1)の要領で実施してみましょう。</p> <p>③英作文にチャレンジしましょう(p.220～p.221) 第1講～第4講のポイントを用いた英作文をやってみましょう。調べながらで構わないので、ここまで扱った文法事項を意識して英訳してみましょう。書いたものは、授業の先生に会えたときに見せてください。なお、p.222はランダム問題です。こちらは、(1)の要領で実施してみましょう。</p> <p>④DUOのSection 1～9を確認しよう 今回のRATの範囲となっています。すべて覚えて、DUOパート満点を狙いましょう！</p>

英語	高2 最難関英語 β	<p>①全文を和訳してみよう 既に授業で扱った第1講～第3講に関しては、自分で日本語訳をつけてみましょう。本文での主張が何なのかを確認しましょう。</p> <p>②長文読解の問題を解いてみましょう 第4講・第5講の問題に関しては、まずテキストの問題を解きましょう。第4講に関しては、内容一致問題となっています。本文のどの箇所から選択肢が誤っているか(あるいは正しいか)を明確にするようにしましょう。第5講に関しては、和訳を求める問題です。とくに文型を意識し、訳してみましょう。なお、解く際には辞書で意味調べをしてもよいですが、調べた単語は印をつけておきましょう。</p> <p>③DUOのSection 1～9を確認しよう 今回のRATの範囲となっています。すべて覚えて、DUOパート満点を狙いましょう！</p>
英語	高3 基礎英語 α	<p>①文法事項の再チェックをしましょう 第1講～第3講(p.4～p.43)までは文型と受動態に関して扱いました。こちらに出ている動詞・受動態の形・慣用表現は、書き換えを含め覚えていることが不可欠ですので、すべて覚えきりましょう。</p> <p>②例題および演習を解きましょう 例題および演習(p.6・p.7・p.10・p.11・p.14・p.15・p.20・p.21・p.24・p.25・p.30・p.31・p.34・p.35・p.38・p.39・p.42・p.43)の問題をすべて解いてください。この際、答えの根拠となるものを簡単に書きとめておきましょう。理由説明のできなかった問題は後日解き直し、すべての問題が出来るようにしましょう。</p> <p>③ポイントの確認をしよう まだ授業で扱っていない第4講・第5講(p.44～67)では時制を扱います。Pointを確認してください。その上で、知らなかったことや忘れていたことに印をつけておきましょう。</p> <p>④例題および演習を解こう ③で見たことが使えるかどうかを、例題と演習(p.46・p.47・p.50・p.51・p.54・p.55・p.58・p.59・p.62・p.63・p.66・p.67)を解いて確認しましょう。この際、(2)のように、答えの根拠となるものを簡単に書きとめて、分からない問題に印をつけておいてください。</p> <p>⑤英熟語ターゲット1000の1～200を完璧にしよう 春休み終わりまでにここまでの範囲を終えます。すべて覚えている状態にしましょう。</p>
英語	高3 基礎英語 β	<p>①Pointを復習しよう 既に授業で扱っている第1講～第3講(p.4～p.19)では、文型を扱いました。Pointに出てくる項目を確認しましょう。</p> <p>②和訳しよう 第1講～第3講に出てきた英文を、(1)で確認したPointを基に文型を振った上で和訳しましょう。その際は、白文のページ(p.134～139)を参照ください。なお、白文のページには書き込みをせず、ノートに書き写すなどしましょう。</p> <p>③Pointを確認しよう まだ授業で扱っていない第4講・第5講(p.20～33)では、to doの識別を扱います。まず、Pointを確認し、例文、短文演習、中文演習の訳出を、Pointを意識して実施しましょう。</p> <p>④入試問題演習の扱いに関して 第4講(p.26)・第5講(p.32)に関して、問題を解きましょう。その際、第4講では根拠となる箇所印をつけるようにしましょう。第5講は、文型を意識しましょう。時間がある場合は、全文訳をつけてみましょう。</p> <p>⑤英単語ターゲット1900の1～400を完璧にしよう 春期講習でも1～400の単語を扱います。それまでに、この範囲のものを完璧に覚えきってください。 ※その他、担当講師から参考書が指示されている場合は、それに従ってください。</p>

英語	高3 難関英語 α	<p>①もう一度解いてみよう 第1講～第3講(p.4～p.27)に関して、自習用問題を含めてもう一度解いてみましょう。解く際は、時間を意識して答えを出しましょう。間違えたものに関しては、文法事項の確認をその場で行い、再度とき直してください。</p> <p>②ポイントがどこかを意識しながら解いてみよう 第4講・第5講(p.28～43)に関して、ポイントがどこかを明確にした上で、自習用問題を含めて解いてみましょう。その際、答えの根拠が何かを簡単にメモするようにし、分からない問題を明確にしておいてください。</p> <p>③英熟語ターゲット1000の1～200を完璧にしよう 春休み終わりまでにここまでの範囲を終えます。すべて覚えている状態にしましょう。</p>
英語	高3 難関英語 β	<p>①もう一度和訳しよう 既に授業で扱っている第1講～第3講(p.4～p.15)に関して、ポイントとなることを意識しながらもう一度和訳してみましょう。</p> <p>②ポイントがどこかを意識しながら和訳しよう まだ授業で扱っていない第4講・第5講(p.16～23)に関して、ポイントがどこかを明確にした上で和訳しましょう。その際、訳す箇所を書き写し、文型を振り、ポイントとなることに印をつけてください。</p> <p>③英単語ターゲット1900の1～1500を完璧にしよう これまでの小テストでは801～1500をやりましたが、春期講習以降は1から扱います。難関大学を受験する上では、1～1500までは必須です。抜けがないように覚えていきましょう。 ※その他、担当講師から参考書が指示されている場合は、それに従ってください。</p>
英語	高3 早慶上智英語	<p>①解き直しをしよう 第1講～第3講(p.4～p.37)に関しては、解き直しをしましょう。解答の根拠がどこなのか、訳出する際のポイントがどこなのか、思い出しながらやってみましょう。</p> <p>②問題を解いてみよう 第4講・第5講(p.38～61)に関して、問題を解いておきましょう。文法問題に関しては、答えの根拠を明確にしましょう。構造分析に関しては、ポイントで明示されているところに印をつけた上で和訳しましょう。長文読解問題は、解答の根拠になる箇所がどこなのかを明確にしましょう。</p> <p>③DUOのSection 1～9を覚えよう 授業内の小テストで扱う範囲のものは完璧にしておきましょう。例文を暗唱し、すぐに言えるようにしましょう。 ※その他、英作文・構造分析・長文読解で授業担当者から参考書が提示されている場合は、その指示に従ってください。</p>
数学	高2 SL数学	<p>高校リード問題集数学Ⅱ 式と証明 p.15～p.19 例題【3～5, 9(1)], 問題【11(1)～(3), 13(2)(3), 15(1)] p.6～p.12 例題【5, 6, 12～16], 問題【27(1)]</p>
数学	高2 HL数学	<p>高校リード問題集数学Ⅱ 図形と方程式 p.43～p.51 例題【3～6, 8～11, 13], 問題【30, 31] p.54～p.60 例題【1～4, 9, 10(1), 11], 問題【21(1), 22(1)]</p>
数学	高2 最難関大数学	<p>高校リード問題集数学Ⅱ 微分法 p.122～p.127 例題【1, 2, 5～11] p.129～p.135 例題【1～12] p.137～p.138 例題【1～3]</p>
数学	高3 SL数学 I A II B講義	<p>SL数学 I A II B講義vol.1 p.6, p.7の1-1～3-3 p.16, p.18, p.22, p.23, p.26, p.30, p.32, p.34の基本例題</p>
数学	高3 SL数学 I A II B演習	<p>SL数学 I A II B演習vol.1 p.26, p.27, p.31～p.34, p.37～p.39, p.42 の全ての問題(復習問題の解答は巻末にあります。) p.54, p.55, p.60, p.61, p.66, p.67の全ての問題を予習してください。(春期講習の予習です)</p>

数学	高3 HL数学ⅠAⅡB	HL数学ⅠAⅡBvol.1 p.154～156 標準問題演習[1]～[23] p.54～p.76の全ての問題の予習(春期講習の内容です)
数学	高3 最難関数学ⅠAⅡB	最難関大数学ⅠAⅡB p.8～p.16 三角比・三角関数 演習全9題、補題全10題
数学	高3 SL数学Ⅲ	数学Ⅲ基本問題習得編 p.2, p.4, p.6の例題(ただしp.4(4)は除く) p.3の1～4, p.5の8～12, p.7の16～18, 20 p.84の197(1)(2)(3), 201 p.85の202
数学	高3 HL数学Ⅲ	数学Ⅲ基本問題習得編 p.2, p.4, p.6の例題(ただしp.4(4)は除く) p.3の1～5, 6(1)(2) p.5の8～12, 14, 15 p.7の16～18, 20, 21 p.84の197(1)(2)(3), 201 p.85の202
数学	高3 最難関数学Ⅲ	エッセンス数学Ⅲ p.5, p.7, p.9, p.11, p.13の全ての問題
国語	高2・高3 入試古典文法	①「古典文法」p5～p23までの問、練習問題、演習問題全てを解く。 ②「入試に出る古文単語300」1-120 1日3周ずつ、各15分で覚える。
国語	高2 入試国語読解	①「入試古文」p4～p7解きなおし。設問の解答の根拠をノートに書く。 ②「スタンダード現代文Ⅱ」p2～p13解きなおし。設問の解答の根拠をノートに書く。 ③「スタンダード現代文Ⅱ」p38～p44, p56～p61を解いて、解答・解説を見て、間違えた問題は設問の解答の根拠をノートに書く。 ④「入試に出る古文単語300」1-120 1日3周ずつ、各15分で覚える。
国語	高3 SL/HL現代文	①「プログレス現代文Ⅰ」第1講～第8講 授業で扱った問題に関しては解きなおし。設問の解答の根拠をノートに書く。扱っていない問題は解いて、解答・解説を見て、間違えた問題は設問の解答の根拠をノートに書く。 ②「確認テスト」(プログレス現代文Ⅰについている小冊子)1～8を解いて、解答・解説を見て、間違えた問題は設問の根拠をノートに書く。 ③「出る順漢字書き取り・読み方2900」5訂版の人:p8～p31 6訂版の人:p6～p35 1日30分、書き取り練習をする。 ④「読解を深める現代文単語評論・小説」p8～p53 1日4ページずつ、単語の類義語、対義語までノートにまとめ、練習問題を解く。
国語	高3 SL古文読解	①「古文読解Avol.1」p4～p12までの解きなおし。文章中出てきた分からない単語の意味を調べたノートを作成。設問の解答の根拠もノートに書く。 ②「入試に出る古文単語300」p10～p94 1日3周ずつ、各20分で覚える。 ③「全レベル問題集古文」(旺文社)① 1～7 まずは何も見ず問題を解き、次に分からない単語を全て調べてノートにまとめ、再度答えを出し、解答・解説を見て、現代語訳と見比べ、間違えた問題は設問の根拠をノートに書く。「古文頻出典問題集」第一問～第十問でもよい。
国語	高3 HL古文読解	①「古文読解Bvol.1」p4～p19までの解きなおし。文章中出てきた分からない単語の意味を調べたノートを作成。設問の解答の根拠もノートに書く。 ②「入試に出る古文単語300」p10～p94 1日3周ずつ、各20分で覚える ③「全レベル問題集古文」(旺文社)② 1～7 まずは何も見ず問題を解き、次に分からない単語を全て調べてノートにまとめ、再度答えを出し、解答・解説を見て、現代語訳と見比べ、間違えた問題は設問の根拠をノートに書く。「古文頻出典問題集」第一問～第十問でもよい。
理科	高3 物理	先週までに実施した内容(等加速度運動、重力による運動、波の基本量、波の干渉)の問題演習を実施してください。物理基礎のテキストのP8の2、P14の4、P17の2、P77の2。物理のテキストのP7の2、P11の2、P77の1、P84の3です。重要問題集、基礎問題精講を購入している生徒は該当箇所の演習を合わせて実施してください。
理科	高3 化学	先週までに実施した内容の問題演習を実施してください。化学基礎のテキストのP5～9、P12～p17、p20～p25、p28～p33、p38～p41、p44～p47、p50～p53、p57～p63です。担当の先生からのプリント等に関しては該当箇所の演習を合わせて実施してください。

理科	高3 生物	基礎問題精講 必修01～07、実践01～03を実施してください。問題を解き、採点、間違った問題はやり直しを実施してください。
地歴公民	高3 日本史	①一問一答で基礎知識の確認 副教材『山川 一問一答日本史 第3版』山川出版社を使って、既習範囲の用語を覚えましょう。該当範囲はp1-p9(日本史α)、p62-p65(日本史β)です。 ②テキストを使って流れを確認 0・1学期のテキストには穴抜きのページがありますので、流れの確認をしてください。該当範囲は、p90-p93(日本史α)、p117-p121(日本史β)です。
地歴公民	高3 世界史	『世界史演習編vol.1』の復習、暗記を実施してください。 ①高2の10月から履修の生徒 α：第1章～第9章(32番・36～40番は未習)、β：第1章～第2章です。 ②高2の冬期講習から履修の生徒 α：第1章・第5章～第9章(32番・36～40番は未習)、β：第1章～第2章です。 ③高3の2月から履修の生徒 α：第1章、β：第1章～第2章です。
地歴公民	高3 政治経済	通常授業のテキストに収録されている問題を解いてください。 ①政治経済α：通常授業テキストp4-p7です。 ②政治経済β：通常授業テキストp52-p59、p104-p109です。

※ こちらの内容については、後日確認テストなどで到達度を確認します。